

石割山&十二ヶ岳山行報告

【山行日】2021年 5月 15~16日(土日)

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 13,100円

【メンバー】CL:鈴木 SL大西 石澤、嶋田、島田、関、廣瀬、福島、藤原、渡辺

15日 曇り時々晴れ 石割山登山口から石割山に登り、平尾山から大平山へ縦走し山中湖畔へ
岩舟支所P5:00=石割山登山口 P7:20/7:40~石割神社 8:40/8:50~石割山 9:05/9:15~平尾 9:35/9:45~大平山 10:20/11:00~長尾山 11:40~山中湖畔P
12:00/12:20=十二ヶ岳登山口 13:00/13:20=カトリア荘 13:30



毎年恒例の富士五湖合宿、今年は石割山と十二ヶ岳を計画した。岩舟支所を5時に出発し、東北道から圏央道、中央道を走り石割山登山口に着く。予定よりも40分早く着き、駐車場は2台しか止まっておらず、好きな場所に止めることが出来た。トイレを済ませ、準備を整えたらストレッチを行い出発する。道路の反対側の小さな太鼓橋を渡り、赤い鳥居をくぐり長い石段を登って行く。400段あまりの石段を登り切った所が富士見平で、大きな東屋がありそこで休憩を取る。東屋からは幅が広い作業道を登って行くが、ブナなどの自然林の道で新緑がとても目に優しい。アップダウンを繰り返しながら登り、やがて8合目の石割神社奥社に着く。奥社前のベンチで休憩を取り、キーウイフルーツや菓子などをいただく。奥社の祭神は真二つに割れた巨大な岩で、岩の裂け目を3度通ると運が開けるそうだ。奥社から20分程急坂を登ると石割山頂上に出て、広い山頂からは山中湖の向こうに富士山が見えるはずだが、雲に覆われてみる事が出来ない。これから歩いて行く平尾山や大平山は良く見え、富士山も山頂が少し顔を出し歓声上がる。記念写真を撮ったら平尾山に向かい、ここからは富士山に向かって下って行く。いきなりガレた急坂が続き、滑らないように慎重に下って行く。下り切るとアカマツなどの自然林が連なる平坦な道になり、新緑の中の爽快な道を進む。この先一登りで平尾山山頂に着き、広い山頂からの眺望は素晴らしく、山中湖の向こうに三国山が大きく聳えている。くだものや菓子をいただきながら、のんびり景色を楽しみ富士山が顔を出してくれるのを待つ。平尾山からは木の階段を下って行き、鞍部で右側に忍野への道を分ける。大窪山への登りは再び階段状の登りになり、左側に別荘地を見ながら登って行く。やがてカヤの心地よい道になり、ゆるやかなアップダウンを繰り返してひと登りで、中継アンテナが建つ大平山山頂に着く。少し時間が早いがランチタイムとし、風を避けて東屋のベンチでうどんを作り、周りのベンチに分かれていただいた。大平山からの展望は良く、展望を楽しみながらランチを美味しくいただいた。



大平山からは道が二手に分かれ、右手の忍野方面への道を見送り、左手の飯盛山への道を下って行く。ここからは我輩と石澤さんが先行し、登山口にデポした車を回収しに行く。



長池山を越え下った所が長池峠。長池峠を直進し舗装道路に出て、ホテルマウント富士からの道を左に進み山中湖畔に向かう。途中の別荘地で予約したタクシーに乗り、石割山登山口駐車場まで送ってもらう。駐車場で車を回収し山中湖畔を走ると、丁度降りてきた皆さんと出会った。右折して安全な場所に車を止め、皆さんを車に乗せて明神前の駐車場まで行く。ここで靴を履き替えてトイレを済ませ、セブンで飲み物等を買う。ここから今宵の宿「カトリア荘」に向かうが、途中で明日の毛無山と十二ヶ岳登山口駐車場を確認する。国道138号線を河口湖に向かって進み、河口湖大橋を渡ったことが無いと

いうので河口湖大橋を渡って河口湖の北岸を進む。文化洞トンネル手前の毛無山登山口駐車場を確認するが、鉄条網が張られて使用できない。トンネルを抜け駐車場を探すが見当たらない。民家の方に聞くと「この先に登山者用の駐車場がある」といわれ、探すと小さな案内板があった。右側の狭い道を進むと10台位止められる登山者専用駐車場があった。丁度下山して来たパーティがいたので、登山口を聞き歩いて確認してきた。ここから車で桑留尾まで移動し、十二ヶ岳登山口を確認してカトリア荘に向かう。カトリア荘に予定より早く着き、食堂でコーヒーやお茶を飲みながら寛ぎ、希望者は風穴見学に出かけた。残った人は風呂にゆっくり浸かり、反省会に備えて部屋で休憩する。風穴見学から戻り、交代で入浴したら反省会が始まる。ビールやワイン、八海山など好きな物を飲み、今日の石割山や明日の十二ヶ岳の話で盛り上がる。17時過ぎに夕食の案内があり、一階の食堂で夕食をいただく。定番のエビフライや刺身など数多くのお惣菜が並び、皆さんお腹いっぱい食べ大満足のような感じだった。明日は昼過ぎから雨の予報なので朝食の時間を早めてもらい、明日に備えて早めに床に就いた。



16日 雨 朝から雨の為十二ヶ岳山行は中止にし、北口本宮富士浅間神社参拝と沼津魚市場の買い物ツアーに変更し、岩舟支所へ帰着する。

カトリア荘 8:00＝北口本宮浅間神社 8:30/9:10＝沼津港市場 9:55/11:00＝足柄SA 11:30/12:05＝岩舟支所 P14:10



昨夜の天気予報では昼頃から雨の予報の為、朝食時間を6時からに早めてもらった。朝起きて直ぐに窓の外を見ると、曇り空だが明るく雨は降っていなかった。ところが、テレビの天気予報を見ると、朝から雨の予報に変わっていた。朝食前から雨が降り始め、十二ヶ岳登山は中止にする。代わりに北口本宮富士浅間神社を見学し、沼津魚市場で買い物ツアーに変更した。女将が早起きして作ってくれた朝食を美味しくいただき、せっかくの好意が無になり申し訳ない気持ちで宿を出発する。女将と娘さんに見送ってもらい、北口本宮富士浅間神社へと向かった。

北口本宮富士浅間神社駐車場に車を止め、雨の中傘を差しての参拝となる。

北口本宮富士浅間神社は山梨県富士吉田市にある神社で、1900年の歴史を持つ由緒ある神社である。



世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一つとして登録されている。

一の鳥居をくぐり杉木立に囲まれた広い参道を進み、朱塗りの大鳥居を抜けると立派な隋神門が建つ。隋神門の先に神楽殿が建ち、その脇の手水舎で手や口を清める。拝殿の前には太郎杉と夫婦杉が並び、その大きさに神社の歴史が感じられる。その奥には本殿と恵比寿舎が連なるが、拝殿からは望むことが出来ない。本殿の奥に東宮と西宮が並び建ち、西宮の先に建つ鳥居が富士登山道吉田口の入口となる。昔の富士登山は、ここからスタートして山頂を目指したのである。

時間に余裕があるのでゆっくりと参拝し、駐車場に戻って沼津港市場に向かった。国道138号線から東富士五湖道路に入り、新御殿場ICから開通したばかりの道路を通過して東名高速に入る。この道路が開通したお蔭で時間短縮でき、沼津港市場に10時前に着くことが出来た。市場の駐車場に車を止め、1時間自由にお買い物タイム。皆さんそれぞれが店舗に入って品定めし、気に入った魚が有れば購入する。我輩も一通り店の中を覗いて歩き、良さそうな店で金目鯛やサバの干物をゲットする。車に戻ると皆さんも大きな袋をぶら下げて戻って来た。昼食もここで食べる予定だったが、お目当てのお寿司屋さんが改装中で、休業中のため高速道路のSAで食べることにした。東名高速道に入り、最初の足柄サービスエリアでランチタイム。



皆さんそれぞれ好みの店で、食べたいものをいただいた。我輩はアジフライ定食をいただいたが、揚げたての分厚いアジフライがとても美味しかった。

ランチが済んだら車に戻り、岩舟支所に向かってひた走る。

東名道から圏央道に入ると雨も止み、狭山PAでは傘もいらなかった。

今日は雨の為十二ヶ岳山行が中止となり、残念な結果となったが来年又計画し是非登りたいと思う。